

奥多摩町立小学校のあり方検討委員会（第3回） 会議録

令和5年1月10日

午後7時00分～8時20分

記録者 教育係 鈴木

奥多摩町役場地下1階 会議室

出席者：教育委員会：新島教育課長（委員長）、安部指導主事、鈴木教育係長

委員：渡辺 英俊（副委員長）、木村 光恵、谷田貝 美鈴、乙津 秀敏、松井 良、
西村 元一、石上 和伸、師岡 さと子、志茂 剛之、本郷 達矢、濱田 聡子、
橋本 永吾、小林 隆行、島崎 勘

欠席者：清水 弥真人（敬称略）

1. 開会あいさつ 鈴木教育係長

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

2. 委員長あいさつ 新島教育課長

皆さん、新年明けましておめでとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。

まず事前に郵送したアンケートの関係ですけれども、委員の皆様とお話ししていましたら、本日届いたということで、非常に申し訳なく思っております。

また前回第2回あり方検討委員会の中で、委員皆様の方から色々なご意見をいただきました。特に町の施政ということで町長のご発言ですとか、自治会長のご発言の中で、統合をするのではないかというような心配をおかけしました。そのような中、再度、私の方も12月13日に開催された自治委員会（町長、副町長、教育長、役場の管理職全員、全自治会の自治委員出席）にて、町の考え方としては、現時点で統合するという事は考えていない、ということをご説明させていただきました。委員の皆様にも、住民の方からそのようなお話があれば、委員会では統合を踏まえた検討をしていることはないと言っていたらと思いますのでよろしくお願いいたします。本日も何点か協議事項がございますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

3. 協議事項 進行 新島委員長

(1) (仮称) 新たな奥多摩教育検討委員会の基準について 事務局より説明 鈴木教育係長

①委員構成について

前回の委員会の時のご意見で、まずは存続していくという委員会であれば良いのではないかと、奥多摩の子どもたちのための教育を考えていく委員会であれば良いのでは、というようなお話もございましたので、そのような視点から委員構成を考えていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。なお委員の人数ですが、事務局としてはだいたいイメージとして最大で20名程度と考えておりますが、人数の関係につきましても何かご意見等がございましたらよ

ろしくお願いいたします。

(新島委員長)

ただ今、事務局より具体的な委員構成の案の説明がありました。委員皆様より忌憚のないご意見をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

(委員)

今20名ほどとご説明があったのですが、そうすると、小学校、保育園もありますが、やはり人数が多くなると話が纏まらないので、保育園の保護者の中で話し合っていて、例えば0歳・1歳の代表で1名ですとか2歳・3歳で1名、4歳・5歳で1名、保育園ですと3名くらいの保護者を出すのが一番かと。年齢別で分けてしまうと氷川保育園で5名、古里保育園さんを入れると10名と半分以上になってしまうわけですから、2クラスで1名くらいが良いのではないかと私は勝手に思っておりますが、古里保育園さんに相談せずに…すみません。

(委員長)

有難うございました。今ご発言された部分については、委員さんのご意見としてお受けしたいと思えます。どんどん忌憚のないご意見をいただいて、その中で人数は20名としましたが多少前後しても大丈夫だと思いますので、ぜひそのような視点でご発言いただければと思います。

(委員)

質問させていただいてよろしいでしょうか？

(仮称)新たな奥多摩教育検討委員会というのは、開催することがマストなのでしょうか。

(委員長)

第1回目の委員会の中で、要綱を出させていただいているのですが、その要綱の中に所掌事務があり、この委員会で検討委員会の設置基準を検討することになっておりますので、本日の議題のすべては、この委員会の役割となっております。

(委員)

この委員会の役割は分かっているのですが、この新たにつくる「新たな奥多摩教育検討委員会」では何を検討するのですか。

(委員長)

先程事務局の方からお話があったこと、要綱に規定していること、前回の会議で話ができましたが、子どもたちの小学校の生活の中で、その子どもたちの視点でどのようにしたら良い教育ができるかというようなことを検討していただく、その中で当然、現在お話があったように存続するための検討をしなくてはいけないのではないかとのご発言もありましたので、総合的な検討委員会となっております。

(委員)

今伺っている中で、町としては統合しないという方向で考えていると、町民の皆様も統合しないと希望されたときに、この会の意味が明確にならないなと思っていて、それでも基準を下回ってしまったときに、人員を配置したり、予算を組んだりしなければいけないということについてどうしようかと検討するのであれば、それなりに権限を持った方がメンバーになっていないと話にならないのかと思います。我々、なんの権限も無い者がわざわざ言っても仕方ないことなのかなと思ひまして。であれば、これが町も望んでない、町民も望んでないとなればこの会自体が特

に必要なのかと私は思ったので、それはやらなければいけないことですかと…

(委員長)

はい。わかりました。率直に言うところにはやらなければいけないことになります。これは、町や教育委員会の決定事項ということで、小学校の総会の席でもご説明させていただいておりますので、この委員会を立ち上げるというのは一応教育委員会の決定事項であります。

先程、権限のお話が出たと思うのですが、当然「新しい奥多摩教育検討委員会」となれば、設置要綱をつくり、その中できちんと整えていくという形になりますので、その位置づけをする要綱や条例等については、当然、教育委員会にお諮りして町長に決定していただくという流れになっておりますので、そこでしっかりとした委員会という形になると思います。

(委員)

何かちょっと腑に落ちないというか…統廃合にしなければいけないような状況になってきたから、こういう会を設けますよという話のスタートだったのですが、それでも統合しないんだよと両者の意見もありつつも、まだこれをやらなくてはいけないというのは意味があるのかなと思うのですが。

(委員長)

当初から小学校の統合や存続するための検討をすと言っており、次の委員会が存続するための委員会ではありませんので、総合的な奥多摩町の子どもの教育についての検討していただく会議体になります。

(委員)

それは、教育委員会とは、教育委員さんたちの権限とは別の組織になるということでしょうか。

(委員長)

そうですね。別です。

(委員)

すみわけとか特にないですか。

(委員長)

すみわけというのは？教育委員会については法令で定められております。教育委員会は、それに基づいて教育委員定例会等で議案について審議しております。そのほかに、条例・要綱で定める委員会、今回の委員会については、要綱等で設置する委員会と教育委員会の中ではイメージしております。

(委員)

その辺のすみわけというか、なんのための委員会なのかがちょっと不明確なのかなという気がします。

(委員長)

将来の子どもたちの教育の場の部分をしっかりみんなで検討していくというような形になります。それとイメージとしては、奥多摩町の最上位の計画である長期総合計画についても、要綱を設置して、住民皆様のご発言をいただいて計画を作っています。そういうようなイメージをしていただければ分かりやすいのかと思います。

(委員)

自分の理解の仕方がこれでいいのかを質問したいのですが、奥多摩の教育、奥多摩の子育ての良さを再確認しなくてはいけない、それをさらに魅力あるものにする、実際にしていくためにはどうしたらいいかを考えていく会であると、必要があればそのためには、教育委員会と違うのは住民の意見を集約するということであったり、その計画を検討することが具体的にその先として出てくるかもしれない。一番最初のビジョン的なものを確認していくという役割ということで良いですかね。

(新島委員長)

そうですね。今委員が言われたようなイメージでよろしいかと思います。

(委員)

私も先ほどの委員が言われたように、最初の氷川小の児童数が減少してきているのでというような状況で、そうなる統合とかそういうことを考えていかなければならないのではないかとということで、それを検討していくような感じに受け取っていて、それを検討するかどうかの委員会を立ち上げる必要があるかどうかということ、この会で決めるというようなお話だったかと思うのですが…

(委員長)

第1回目の組織のイメージづくりというのを委員の皆様にお渡ししたと思います。その時に小学校のあり方検討委員会についての考え方、それと(仮称)新たな奥多摩教育検討委員会の役割イメージというのを第1回目の会議の中で出ささせていただきました。その中で(仮称)新たな奥多摩教育検討委員会については、その目的というのは、児童生徒の人口が減少する中、やはり学びの機会の消失や、将来の課題解決を諮る検討機関として設置しますよというようなことでご説明をさせていただいております。この委員会の中でやはり統合のお話ですとか、存続に向けてのお話、特に存続に向けてのお話は重要ではないかのご発言もいただいておりますので、全体的な存続のお話ですとか、統廃合についての検討という総合的な検討をしていく。特にこの検討委員会については、統合の必要性の協議、統合しない場合の学校運営の協議、現状分析をしますということで、第1回目の資料ではそのように説明したと記憶しております。実際そのように教育委員会としても各学校での説明のときにしておりますので、(仮称)新たな奥多摩教育検討委員会というのは、今言った協議事項を検討するというようなイメージでいただければと思います。ただ委員皆様へは存続のお話をしなければいけないのではないかとのもありましたので、当然この委員会の議論は白紙でスタートしますよと事務局からご説明させていただいております。委員の皆様からそういうご意見が多くあったので、次の(仮称)新たな奥多摩教育検討委員会中では当然、存続に向けてのお話をしなければいけないと事務局としては考えております。

補足で以前に人口推計のお話させていただきましたが、近い将来、政策的なことをしていかなければ、人口推計をみるとやはり極端に年少人口が少なくなっております。少なくなってから慌てて議論というよりも、実際に同時並行でやっていったほうが良いのではないかとといったご発言も教育委員会の中でありましたので、この検討委員会を立ち上げたということです。この検討委員会を立ち上げる部分というのは、先程ご発言のあったように小学校の人数が減少してきたということがありましたので、この小学校のあり方検討委員会を立ち上げて、(仮称)新たな奥多摩

教育検討委員会の基本をこの委員会の中でご議論していただきたいというのが、教育委員会の方針となっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(委員)

委員構成についてというところで、ちょっと考えるところがあつて、氷川小と古里小で自分は古里小を預かる身なんですけれども、2校で運営しています。このような感じで児童数もずっと維持してそのままであれば良いのかもしれないですが、色々考えなければいけないという上でこのような話になっていると思うので、その話に乗つたということであつて聞いていただきたいのです。

そんなつた場合に前回は話をしたと思うんですけど、今、学習指導要領があつてきていて、子どもたちが将来世界に渡つていくわけですよ、今まで経験したことがないそういう時代があつて、そこを突破していかなければいけない力を付けるというのが学校、特に小学校になっているのが大前提になっているんですね。そういう観点からみると、やはり色々考えた上で我々がやつていかなければいけないのかなと思ひまして、例えば、もう限りなく人数が少なくなつてしまふ。これは実際にある話ですが、ある市では、1年生2年生3年生が女の子1人しかいない、もうそして新入生は入つてこないというような学校は、今私の仲間の学校でもあります。それでこの先どうしようかというところで、おそらく自治体含めて考えていらつしやることだと思ひますけど、切実にその女の子の発達具合ですとか、あるいは集団としてどうなのかなとか。もし自分がその校長だったら、やはりすごく心配になるところです。そうなるというところはまだ数字上見えてないのだけでも、あらゆることを考えてと委員長の言葉を受けて、私の意見としてみれば、そうであるならば色々なケースを考えて、前もつて話し合う事はそれは無駄じゃないと思ひます。その場になつてからバタバタとやつても、複式学級というのはやはり学校を預かる身としてみれば、ちょっと子どもには可哀想だなと。やつている学校があるので深く言いたくはないですけど、個人的な意見として聞いていただきたいですが、自分が親だったら、学校の校長だったらどうにかして避けたいのが筋なんです。そうなるのが目に見えているのに何もすることがなく、やはり2校だけとなるとどうなのかと自分はすごく思ふので、であるならばそういうことも考えて、例えば今我々ここに校長3人いますけど、こういう校長じゃなくて、校長経験者で大きな学校の観点、そういう学校で学んでいる子どもたちからすると、よりのものすごい小集団の中だつたところ、そこを含めて提示していただいてそれを加味した上で我々が判断していく。更には教育委員の方で考えていただく。そういう方が本当に、今通つている子どもたちだけではなく、先の子どものことを今議論していると思うんですけど、どうにかできる段階にあつた関係者が、それを避けたがためにそういう事態になつたと言われるのが私は嫌だなと思ふので、であるならば自分の意見としては20名程度とありましたが、今現在、中にいる人間だけで20名をかき集めるのではなくて、そういう経験された方、外部からのこういうことも外からみるとこうですよとセッションしてくれるようなそういう指揮者というのか小学校長経験者という方を1名でも入れていただけるといいかなと思ひます。あと小学校中学校の連携で9年間と今言つているんですね。そういう点からみると、中学校側からしても小学校のこういうところが課題になるよとみえてくると思うので、当事者だけでなく中学経験者等。どうしても親身というか、親心になつてしまつて判断が崩れてしまふかもしれ

ないので、最大でも20名のうち最低2名はそのような方を入れていただけるととても安心、当事者だけでなく関係者が入ってもらえるといいかなと思いました。

(委員長)

はい。有難うございました。他にご意見等ございますでしょうか。

今具体的に外部の校長先生とかを入れた方がいいのではないかとか、先程委員さんからは保育園からは3名ほどの具体的なお話もありました。具体的にご意見をいただいて、最終的には教育委員会の方で案をお示ししますので、今日の委員会ではどんだんご発言していただいてその中で、事務局で叩き台を作りたいと考えておりますので、思っていることをどんだん言っていたければいいかなと思いますのでよろしくお願いします。

(委員)

委員の意見の中で、保護者の代表が入る、当然職員も入る、そうすると3名ではなくて職員も入ったらどれくらいになりますか？

(委員)

そうですね。職員というのはどうなるかは…今、島崎委員は職員であって保護者でもありますしどういった関係になるか分かりませんが、最低でも3名くらいを園児の保護者代表として入れさせていただくのがベストなのかと。ただ、お題が変わったので話しやすかったですけど、当初小学校のあり方検討委員会だったので、僕たちどういう立場なんだろうと。今、奥多摩の教育になりましたので、人数が少ないのは保育園にいる時から分かっているわけですね。3・4歳から変動がないわけですから、そうするとその時点でお互い古里と氷川で3歳が3名ずつくらいしかいないとなってくれば、保護者も参加して子どもたちが上がる小学校をどうあるべきか検討しないといけない。小学校のあり方検討委員会、新しいお題になった奥多摩の教育、0歳から始まるわけですからこの人数をみて保護者が積極的に参加できるような人数配置をしたらどうかということで最低でも3名を入れていただきたいという思いです。職員が大量に入ってもと思うので良くて2名くらいだと思っております。

(委員)

長期総合計画のことを考えると、一般の町民とかをどうするかということが出てくると思うのですが。

(委員長)

そうですね。例えばこの委員会で公募委員さんを選んだ方がよいのではないかとかご発言があれば、当然公募委員さんを入れていかなくてはいけないかと考えております。

(委員)

氷川小保護者代表で出ていますが、やっぱり小学校保護者各校1名だとすごく負担が重いと思って、今回のこの委員会に出席するメンバーを決めるときも、誰がなるのかという雰囲気になってしまったので、複数名いるとなりがやすかったりするかと思います。私の意見なので、まだ小学校の保護者の方と全然お話を詰めてないのですが、1名よりは2～3名の方が良いのかと思います。多分職員の方も入るといって、人数も圧迫されてきてしまうかもしれないですけど、複数名いると皆さん立候補しやすいのかと感じています。

(委員長)

はい、有難うございます。

小学校の人数はだいたい2～3名必要だということですね。有難うございます。

他にご意見はありますか？

(委員)

はい。取り留めのない意見で申し訳ないのですが、この会議がシーンとしてしまうのも専門家みたいな方、校長先生方がいっぱい居らして意見を出していただけてすごく参考に聞かせていただいているんですけど、何か誰もが直面したことの無い事態だと思うので、詳しい方、前例を知ってらっしゃる方みたいに、内部だけでなく外部でも詳しい方がいらっしゃると議論が進みやすいのかと感じました。

(委員長)

はい、有難うございます。

ちなみに中学校が統合した時にはですね、渡辺副委員長が中学校の校長先生、木村委員が教育委員長、石上委員が氷川小学校長先生で、乙津委員も古里小学校の副校長でいて、皆さん統合した時を経験されて実情を知っています。この委員会の中にも詳しい方もいらっしゃいますので。

(委員)

すみません。私、移住してきたのであまり事情も知らずにすみませんでした。

(委員)

その時とこの委員会は同じじゃないですから、全然、状況が違いますから。

(委員長)

この会は統合するとか存続するとかの会ではなくて、その次のステップである協議会をつくるのにどういう委員さんが良いのか、どういうときに検討した方がいいのかとご発言をいただく会ですので、ご意見をどんどんいただけると非常に助かります。

(委員)

古里小でのこの会の委員を決めるのに、皆さん他人事のような感があるんです。事前に新島委員長が来て、説明を何回かしていただきましたが、その時は統合の件で皆さん食いつきがあり、多少反応がありましたけど、いざこの会を作ると言ったときに誰も手を挙げなくて、結局、会長、副会長が今回委員をもつということになりました。何のためにこれをつくって、その大元をつくるための会といっても、なんかみんなに伝わっていないんですよ。高学年になると次は中学生3年間終わったら、その話すら関わらなくなって、「とりあえずすぐには統合等しないだろう」くらいの感じだと。もっと教育検討する前に、その前段階でどういう風に保護者に訴えるか、そこがちゃんとしないと保護者からなかなか来ないかなと。逆に僕も移住者なので、移住者の方が危機感があるかと思います。これまで都内のマンモス小学校へ行っていましたが、こちらではこれだけ少ない人数でとても僕は良かったと思っているんです。教育自体も良く、目も行き届いて。それで結局統合したらどうなるんだろうと、統合して悪いことなのかとか、そういう細かい所が分からないというか、それでなかなか皆さんこういうところに手を挙げてくれないのかと思います。

(委員長)

確かに、小学校の総会等で説明会をしたときに、人口減少の話や以前の中学校の話をする、

自分たちの学校が統合するのではないかということもあって、色々ご質問が出ました。教育委員会は、現時点では統合はしないと総会の席、その後の説明会でもお話しさせていただいております。特に教育委員会としても煽るということは考えておりません。ただ昨年の説明会で、現状4月1日現在の人数をお示したときに、0歳1歳2歳3歳児というのが氷川小学校も古里小学校も1桁になってしまうというお話をさせていただいて、また奥多摩町の人口ピラミッドも出させていただいて、年齢構成の現状もみていただきました。3年後、4年後のお話ですから、その準備段階としてやはりそういう部分を、困ってから教育委員会が一方的に統合の検討委員会をやるのではなく、その前段階から住民皆さんや保護者の皆さん、また学識経験者の方や先生方と一緒に情報を共有して進めていく方が、より良い学校づくりができるのではないかと、地域のお子さんが住みやすい環境ができるのではないかという視点で、今回立ち上げさせていただいております。ですので、保護者の方も前回中学校統合をしたときをよく知っている方は、やはりまた統合なのかと思う人もいれば、橋本委員さんのように移住してきた方の考え方もあると思います。特に中学校に在学している保護者と、小学生高学年、低学年の保護者と、保育園の保護者は全然意識が違います。これは説明会へ行っても感じ取れましたので、やはり自分が当事者になる保護者の方は当然受け止め方が違いますが、今、6年生が最後のお子さんとなると温度差があるというのは否定できません。ただ町全体で考えていくことは重要ですので、今回この会を立ち上げさせてもらってますので、そのような視点でぜひお願いできればと思います。もし学校でまだまだあまり理解がないのであれば、いつでも運営委員会等があればそのような席で再度お話しても結構ですので、要望があればまたお話をしていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

(委員)

これからお子さんが上がるということで関心がある気持ちがある方はいるだろうし、それからお子さんが大きくなってしまったということで経験を持って自分の子育てのことをもっと振り返ってみてもらって、公募の方はやはり入れた方がいいのかなど私は思います。あとやはり、未だにどんなことをするのか少しぼやっとしているところがあるので、発足してから、さて何をしますかということにならないように、あらかじめ何点かやることを決めておく方が良いかと。ここでアンケート調査の原案を出されていますが、意見集約は少人数のメリット、デメリット等の一部ではなく、もう少し突っ込んだ形で聞いていかなければ、ビジョン化は多分できないと思うんです。そういうような部分から、まず最初はアンケートを作りますとか、その行程表みたいなものを一応予め作っておいた方が良いと、そういうものが必要なかと思えます。

(委員長)

そうですね。今回のアンケートはPTAの説明会等でこれを踏まえて二つの柱があると常々お話ししております。ひとつは将来的な奥多摩の教育の検討委員会を立ち上げる基準をこの委員会で検討していただく、もうひとつは今の現状を評価したり、その中のひとつが意向調査ということで今の実際の保護者の方が、どういう風なイメージでいるかというアンケート調査をやってきたい。その調査の中には学校の先生の視点でのメリット、デメリット等、今回は保護者のアンケートですが、子どもの視点でのメリット、デメリット等を評価していくということで一応ご説明をさせていただいたつもりです。たとえば今、委員が言われたように、基本方針ですとかビジョンを組み込んで、必要であればその部分についてのアンケートを取ります。現状では本当にざっく

りとした、今お住まいの皆様が小規模校のメリット、デメリット等を感じ方があるのかなのか。今回は集計するのが大変なのですが、アンケートの場合、設問で操作できるんですね。ですので今回は、メリット、デメリットというのは記述式という形で作っております。あくまでも今回はこのようなアンケートということでご理解いただければと思います。

(委員)

繰り返しになって申し訳ありませんが、(仮称) 新たな奥多摩教育検討委員会という名前も変えることは難しいですか。

(委員長)

今の段階では、第1回目からの委員会からこの名称を出させていただいて、前回もご意見をいただいたかと思うんですけど、これは奥多摩町の最上位の計画である第5期長期総合計画の検討事項がこれになっています。それと毎年9月に議会報告があります。これは教育の評価ということで、それがここでも出しているのがこのような形で計画があるのでこの名称にしております。ただし、ネーミングを変えたいということであれば、変えることは問題ないんですが、今の段階ではさきほど言ったように、これが最上位の第5期長期総合計画の項目になっておりますので、この名称を使っております。第5期長期総合計画とは、住民皆様にも入っていただいて作って決めた計画ですので、一応それを尊重していきたいというのが教育委員会の方の考えです。

(委員)

名前を変えるのは問題ないのですか。

(委員長)

はい。今とりあえず仮称にしているのは、この検討委員会を設置すること自体は基本計画の中に載っています。行政ですので、その基準である最上位の計画の中の名称を使っているということです。思い付きでこれを入れているわけではありません。

(委員)

もちろん分かるんですけど、先程からの繰り返しになるんですけど、何を検討するのかこれだと見えにくいです。今までの話の流れからしたときに、私は例えば「2校を存続させるための対策検討委員会」みたいだったら、とても分かりやすいのかなど。町も町民も統合させたくない、そのための対策をしっかりと考えるんだという中身がそこに見えるんですけど、これだと見えない。統廃合をさせないための委員会であるということを入れた方が良くと思います。

(委員長)

統廃合をしない検討もしますし、人数が少なくなったらどうしようという検討もする会議体ですので、先程言ったように総合的な検討をする会議というようにご理解いただければと思います。松井委員が言われているのは、存続だけの委員会というイメージだと思うのですが。

(委員)

でも、町も存続を望んでいるわけですよね。

(委員長)

町全体としても望んでますけど、人口推計を見たときに本当に3年後に1クラスの人数が1桁になってしまうんですよね。そうなったときに例えば、政策として松井委員が言われたように、存続するために色々な政策をやった結果、人口推計のまま。例えば、今1桁で8人とか7人6

人、氷川小学校の学区ですと1歳児が7人、2歳児が6人、3歳児が8人ということですのでごく少ないんですよ。これは4月現在なんですけども、それが将来的には小学校に上がってきますので、政策をうって橋本委員さんのように移住して来て下さる方がいっぱいいれば、現状のままいけるんですけど。

(委員)

存続させるための検討委員会が破綻したときに、統合するための準備委員会が立ち上がるという形になるんですか。

(委員長)

総合的に検討してはどうかというのが教育委員会の考えです。

(委員)

その意向は分かるんですけど、その題名（仮称）からは伝わってこないです。

(委員長)

決定事項というのは、何度もご説明しているとおり教育委員会での決定事項は、総合的な検討をしてほしい、その叩き台をこの委員会で意見をいただきたいということなんです。総合的な検討をする場合にどういう委員がいた方が良いかという形でご意見をいただければ助かります。

(委員)

委員として選ばれてこうして会議をやっている、堂々巡り、なんか全然進歩がない。この会は別に統合どうのこうのとかそういう会ではなくて、現状からしてみれば、奥多摩は子どもが少ない等色々問題はたくさんあります。でも、町も若者住宅等の対策で人を増やすことに色々力を入れている、そういう中で、今我々が考えるのは、最初は志茂委員や乙津委員の具体的な委員選択のお話は良い方向に進んだと思いましたが…いわゆる数字から見たら無理な事でも何を頑張ったらそれを維持できるのかというのを選ぶので、どのような人が話し合いに入って、そういう話し合いをしてくれたら良いのかを考えるのがこの会だと思うので、もう少し前に進んで頭を柔らかくして我々は、志茂委員が言われた保護者からの意見を入れた方が良いとか、保育園からの考えは何名くらいほしい、外部からの経験された校長先生のご意見を伺ったら良い。そのように話を纏めていかないといつまでたってもこの会は終わらないような気がします。我々が統合等をどうしたらいいかと決めるのではなく、そういう人を選んでこれからの奥多摩の少なくなっていく小学校の教育、中学も統合してまだ問題点もあるだろうし、そういうのも汲み上げて、やっぱり少人数になってもこうが良いんだというご意見が出せるような、そういう会を作り上げるということなので少し皆さんの考えを柔らかくして前向きに、たまたま選ばれた我々が、どのように町の教育を良くするためにどういう人を集めたら良いか、どういう風に考えていった方が良いかのご意見をしていかないと、いつまでたってもこの会は終わらないと思います。

(委員長)

はい、有難うございます。今、委員さんのご発言がありました。ぜひそういう視点で、こういう委員さんが入って検討したら良いのではないかとご意見をいただければ助かります。

今、何点か意見が出ているんですが他にありますか。

(委員)

小中一貫ってあるんですよ。なぜそんなことをいうのかと言うと、自分は去年まで小中一貫

校の学園長をやっていたので、学園長時代は、9年生から1年生まで授業を見に行ったりと色々やっていたんですね。檜原村というところなんですけど、かつて小学校が7校あったんです。私も知らなかったんですが、7校が順次統合して平成になって、すべて1か所でやっています。バス等使って、一番遠いのは片道40～50分くらいかかります。子どもたちが一生懸命通って来ているんですね。これは大丈夫かと思っていたんですけど、学校は1校なので、当初は色々あったみたいですが一致協力してやっているんですね。そういうところでやっている学校もある。また中学校との絡みというのも、これだけ人口が少なくなってくるという話を受けての話になりますが、中学校側からしても活力、活気を出したいとか家庭での関係性、やはり思いやりですか、より大きな社会に出ていったときを考えると、自分は学園長時代は役立ったなと思っていて、常に中学校はすごく少ない人数だけど、小学校を入れて運動会も一緒にやっていたんですけど、行事や色々な面でプラスになることがあるんですね。そういう小中一貫校の経験者で、指揮者的立場で色々なこと考えられる人を入れると何らかの知恵になるのではないかと思います。色々なことを検討するというのであれば、それも良いのかと率直に思います。ちょっと規模が似ているので。

(委員長)

はい有難うございます。今貴重なご意見をいただきました。他に何かございますでしょうか。

(委員)

乙津委員は色々経験されているんだなど。色々な角度から見られる現役の先生でも良いのではないですか。外部から来られるというのと、せっかく奥多摩教育検討委員会ですから、青梅でも羽村でも23区でもない奥多摩のことを考えていただける方でも良いのかと思います。

(委員)

次の(仮称)新たな奥多摩教委育検討委員会の雰囲気というのか、それが存続、統合のフラットな感じになると良いなと思って、町民の中にも町民も一枚岩ではなくて統合が良いか、存続が良いかで意見が割れるところだと思うんです。私も複式学級のことをインターネットで調べてみて超大変そうと思ったので、そこは存続でいくという雰囲気という言葉を曖昧なんですけどフラットな感じで、子どもにとって一番を検討する会なんだよというオーラで進められる会にしたらと思います。元からどっちかに傾いているのではなくて、言われたような総合的のところを押し出していただく会になった方が色々な方が参加しやすい、色々な意見が出やすいのかと思います。結構、前回の委員会では統合しませんよねみたいな感じの空気感だったので、どっちもありだよという感じが良いかなと思います。

(委員長)

次の会では、今言われたように総合的な視点で検討する。存続されるためのお話もしますし、人数が少なくなった時の検討もしていくというような基準にはなりますので。有難うございました。他にはよろしいでしょうか。

(委員)

総合ビジョンを作って実際に計画を策定する等を考えていくと、こういう人が入ったら良いとかが出てくると思うんです。あくまでも最初、今度できる会はその取っ掛かりの部分の大枠のビジョン的な部分、またその中の話し合いによって必要な部会があつたりだとか、そういうものを

設置しなければならなくなってくるかもしれない。またそうなったときには別な人選が必要になってくるという風な理解の仕方でいいのかなと思います。そうすると、実際に関わってくる方、また関心のある方、それと町民の意見をどのように集約するのかというところでその方たちが話し合っていくという形になるのかなと思うんですけども。

(委員長)

そうですね。次の委員会の中でそういうご発言があったら、当然部会を設置したり、このルールに特化して検討しようなどというお話が委員さんの中から出ればそういう検討も必要だとは思っております。まずは総合的な検討をする会の委員さんをどういう方が適任かという視点でご発言をいただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

……特に意見なし……

では委員さんについてはよろしいですか？

……特に意見なし……

他に気づいた点があれば、その他でご発言をしていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

それでは、次の協議事項（２）について事務局よりご説明をお願いいたします。

3. 協議事項

(2) (仮称) 児童・生徒保護者アンケート調査（案）について 事務局より説明 安部指導主事 (安部指導主事)

では、(仮称) 児童・生徒保護者アンケート調査（案）についてご説明させていただきますが委員長からお話がありましたとおり、本委員会が次の委員会の立ち上げと、そして現状分析、二つの柱にしているということで、その柱の一つ現状分析にあたるものはこの本アンケートになります。(仮称) と付いていますのは、あくまで叩き台として事務局案として出させていただきますので、委員の皆様からのご意見をいただいて形を作っていくということで(仮称) とさせていただきます。児童・生徒の保護者の方へということで、小学校と中学校の保護者の方にアンケートを考えております。それぞれ内容を思われるところ、違うところも想定されますので、そこは別に考えております。

《アンケート内容の説明》

こちらの方は学校を通して保護者の方へお配りして、こちらで集約させていただく形で考えております。内容、設問等に関してご意見等をいただけましたら幸いです。なお、スケジュール間としましては、今週中にご意見を集約して、1月中にはアンケート実施できればと考えております。以上となります。

(委員長)

はい、有難うございます。今事務局の方からアンケート調査についてご説明がありました。これについてご意見等あればお願いいたします。

(委員)

設問の間1、問2はこの内容で良いかと思うんですが、その次の問3、4、5、6が結構気になって、【学校生活についてお聞きします】という内容で、子どもの学習についての満足度、保

護者からの視点で子どもが通う学校の満足度ということで、これが今ある新たな奥多摩教育検討委員会と結びつけるのに、違うことを書いてくる方も多いのかなと思ったんですね。例えば今何が問題になっているかと、規模の点からこういう話が出てきていると思うので、それにまつわるような質問、例えば問7、8をもう少し分かりやすく、施設面からどうですかとか、授業の面からとか、体力向上の面からとかICT教育が叫ばれていますけどどうですか等、なんかちょっと視点を振り分ける。この内容だと学校の不満とか、別の問題が出てくる気がするんですよ。もしこのようなものをやるのであれば、各学校でやってる学校評価やPTAとかから出てくると思うので、もう少し設問を工夫されるとより良いのかと思いました。

(委員長)

はい、有難うございました。他にご意見等あればお願いいたします。

(副委員長)

学校評価で似たようなことをされているので、逆にざっくりで良いのかと。これは学校評価ではないので、トータルでざっくりとどのように思っているのかと。それが表れてくれば良いのかと、それを生かして来年の…とかではないですので、来年に生かすのであればしっかり細かくとっておかないと意味がないと思うんですけど、とりあえず、どんな感じで思っているの？くらいの感じだったら、ざっくりで良いのかと思います。そうしないと、同じ様なものをまたやるのになってしまうのでその方が良いのかと思います。

(委員)

人数に関係なくざっくりなんですかね。

(副委員長)

これくらいで良いと思います。例えばそれぞれの項目で4段階等をつけて、トータルでみてその方は3なのか、4がひとつでも4をつけるのか等、違いがあって良いと思います。とりあえず現状をざっくりと、どんな感じで思われているのかを知るには大まかに伝えた方が良いかなと思います。

(委員)

前回出席していないので恐縮なんですけど、アンケートは小学校だけに限るんですか。保育園とかにも広げることは可能ですか。

(委員長)

一応、小学校、中学校用を作ってみたので、あと保育園の保護者用も作ることは可能です。

(委員)

今後も考えていくのであれば、今いる方だけではなくてもう少し広げた方が良いと思います。町全体だと広げすぎかと思うのですが。

(委員長)

そうですね。保育園だと聞く設問をどういう形が良いかというのがあったので、とりあえず現状の小規模校、例えば今、氷川小学校ですと1桁のクラスもあれば2桁のクラスもある。古里小学校も多くても20人くらいしかいないので、その中で保護者の方がどのように捉えているかを聞きたいと思ったんですね。先程、副委員長の方からざっくりととありましたが、実はこちらでも当初は細かい設問をしようと思ったんですけど、教育長と相談してやはり設問の項目が統廃合

に近い設問になってしまうと、また町がやっぱり統合だとかを考えてアンケートを取っているのではないかと不安がられてしまうので、一般的な学習面ですとか、子どもが通う学校の満足度とかということで、ざっくりとしたものになっています。

(委員)

学習が入っていると、今現在、実際にやっている教員としては、アンケートの趣旨は分かっているんですけども、親としてみたら先生方色々な工夫をして一生懸命やっていて、本当に全然違う方向性のタイプがいっぱい出てきますよね。なんか自分が評価されるみたいで嫌なんですけれども。

(副委員長)

それはよくあることですから。

(委員)

保育園の保護者も含めてと考えたときに、例えば、町の教育に期待するものとか、町の教育の大切にしたいものとか、そのような言い方もあるかと思います。

(委員長)

そうですね。保育園の設問はこれとは別にやるということであれば多少変えます。

(委員)

問7、8、9あたりは別に保育園の保護者でも答えられるかと思います。

(委員)

イメージとかどう思っているのかというくらいの質問なので、小学校でも保育園でも同じ設問でもいけるのではと思いますが。

(委員)

この問3、4、5、6これは、例えば、小学生の保護者のみとか記載をしてもらって、問7、8、9に関しては、子どもを通わせる保護者がどんなことを考えているか、感じているかを書けると思います。

(委員長)

それでは、そこの部分は保育園の保護者用に文面を修正することは可能です。

(委員)

満足度は数値的にどう出したいではないんですよ。どういう風に思っているのかをざっくりと聞きたいだけなんです。

(委員長)

それで教育委員会が学校を評価することはありませんので。

(委員)

満足度、度数を出すのではなくて、魅力は何ですかとか、大切にしたいものは何ですかというような聞き方をしたら、言葉で出てきますけど度数では出てこないですね。色々上がってきて全体の何となくの雰囲気把握できるのではないかなと思うんです。数字ではなく、言葉で良いと思うので、すべてを記述化にするといいのかなと。問3、4、5、6このあたりは記述で良いのではないかと思います。

(委員長)

今そういうご意見が出ましたがどうでしょうか。

(委員)

先程、統合とか存続とか入れない方がということでしたが、私はそこが一番聞きたいのではないかと思っていて、そこを入れないのは本来の意味合いから違ってきてしまうのではないかと思うんです。存続を望む…なぜなら…とか、統合を望む…なぜなら…という書き方でメリット、デメリットを述べられるかなと思います。そこがやはり最終目標なんだということが見えないのが逆に、変な憶測が飛びそうな気がするんですね。

(委員長)

そうですね。この委員会のアンケートとしては、副委員長が言われたようなざっくりといけばいいのかと、例えば、次の委員会の中で具体的に意向調査をしていこうとなれば、今委員さんが言われたような形でアンケートを設定していくという風には考えています。これはあくまでも、今の段階では議論をする前段のざっくりとした意向調査として受け止めていただければと思います。

一応対象なんですけれども、これは小学校、中学校、保育園の保護者、ご兄弟のいる方で、小学校に2人いれば1部でいいのですが、小学校と中学校、保育園にいる場合はそれぞれの視点で3部書いていただこうかなと考えておりますので、その部分でもしご意見があればお願いいたします。

(委員)

質問なんですけど、アンケートの間1世帯主の年齢の世帯主というのは？

(委員長)

そうですね。一般的には世帯主を聞いてますが、世帯主でなくてもアンケートに回答した方ということでも大丈夫です。監護している方が両親だけとは限らないので、例えば、両親が死別してお爺さんお婆さんが監護している場合もありますので、それで50歳、60歳以上としてあります。誰がと入れないと年齢が分からなかったりするので、案として世帯主と入れさせていただいております。世帯主という限定してしまうので、アンケートを記入していただいた方で良いと思います。

(委員)

アンケートの地域活動というのはPTAとかではなくても、川井とか小丹波とか自治会の動きでいいですかね。

(委員長)

そうですね。子ども会ですとか、地域のお祭り関係ですとか、全般的に含まれているというように理解いただければと思います。

(委員)

分かりました。そうであるならば、保育園、小学校、中学校とそれぞれ在籍した場合には、スタンスが違うと思うので、それぞれで出してもらった方が分かりやすいのかなと。多分地域活動とか小学校以下とか、中学校については部活動が新しく変わってきているので、そのへんも見えてくることもあるかもしれないということで、バラバラで、家で1部の方が良いと思います。

(委員長)

その通りですね。ただ表題はひとつになっているんですが、それぞれ小学校、中学校などと分けたと思います。

他によろしいでしょうか？

(委員)

質問なんですが、問9の地域活動というのは、保護者の視点で書くとなると、交流が少ないとか書いて良いのですか？これだと曖昧かと思いますが…

(新島委員長)

そうですね。町の方でやっていたのが、地域活動についてお聞きしますと、例えば人数が少なくなると、この前氷川小の保護者の方からお話いただいたんですが、やはり役員がすぐ回ってくるとか、あと子ども会と青少協の事業が大変だとか。学校とは別の地域活動も人がいないと大変だということをお聞きしたので、イメージとしてはそういう活動の部分をイメージしています。

(委員)

設備的なことを調べたいことではないんですね。

(委員長)

そうですね。今回はあくまでソフトの部分で地域活動、例えば自治会に入れば出なければいけない行事、子どもがいると掃除に出なくてははいけません等、困っていることがあれば書いていただければと思います。

(委員)

もう少しそこを分かりやすくしていただくと記入しやすいです。

(委員長)

そうですね。それでは注釈を入れて地域活動とは…と今言ったような例を参考に載せても良いのかと。都内の方から来られると、お祭りとかの地域活動もないところもございますので。

他によろしいでしょうか？

事務局の方で今いただいたご意見を纏めさせていただいて、今週くらいに作って、また何日か後にご意見がある場合は下さいとご通知をするということでもいいですかね。

(事務局 鈴木係長)

そうですね。事務局の方でご意見を反映させたものに修正いたしまして、今週中に送って来週の20日(金)くらいまでにご意見等をいただければと思います。郵送の方もなるべく早く発送させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(委員長)

では協議事項(2)についてはよろしいでしょうか。

それでは全体を通してここまでで何かご意見があればお願いいたします。

……特に意見無し…

よろしいでしょうか、では協議事項は以上となります。それでは事務局にお返しいたします。

(事務局 鈴木係長)

はい。進行の方有難うございました。それでは協議事項につきましては、今の意見等を踏まえましてアンケート、委員構成も纏めさせていただきお示しさせていただきたいと思います。

4. その他について

それでは4.その他でございますけれども、全体的なこと通して何かございますでしょうか。
……特に意見無し…
よろしいでしょうか？ はい、有難うございます。

5. 次回会議予定について

それでは次回の会議予定ですが、次回につきましては、令和5年3月7日（火）午後7時から奥多摩文化会館1階多目的室となりますので、お間違えの無いようお願いいたします。

6. 閉会

それでは、最後の閉会となりますが、渡辺副委員長よろしくをお願いいたします。

(副委員長)

先程、乙津委員が小中一貫のお話をしていましたけれども、昭和60年に私が小河内中学校に赴任したとき、小河内小学校と小河内中学校は、ひとつの校庭しかなくて、元々ひとつしかありません。運動会も一緒にやってももちろん柿の実祭、柿の実が小河内中の校章だったんですけどもいわゆる、学習発表会や学芸会のような感じのものも合同でやって、運動会も子どもたちが関わりますから、係の人が足りないので、保護者の方が道具係などをやってくださっていたのを改めて思い出しました。それが先程、古里保育園の園長先生がいう奥多摩の教育の良さだったのかなと。

また、今年、母校の中学校が港区ですごく都会なんですけれども、あるとき知ったら廃校になっていたんですね。やっぱりそれは寂しいものでもう無いんだと。そんな思いも感じつつ、ここに前向きのこれから新しい会の設置をしようとしています。方向性が少しずつ決まりつつあるというのが今日の分ではないかと思っています。また次回もよろしく申し上げます。

(事務局 鈴木係長)

どうも有難うございました。以上で終了とさせていただきます。お疲れ様でした。